

【様式①】令和4年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立梅林小学校

校長名 三浦 潔

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立	<p>未来を担う子供たちを共に育てる環境をさらに強化する為、地域活動の幅を広げ、コロナ禍にできる体験・活動型となる教育活動を工夫する。</p> <p>いじめ防止に重点を置き、「地域と学校による双方向の見守り」を強化できるよう、交流方法の具体化を図る。</p>	A	<p>創立100周年を記念し、様々な行事等を実行委員会中心に企画・実行していただいた。教材園、芝生の手入れ等についても、継続して、助けていただいた。</p> <p>学校の現状を学校運営協議会等で伝え、学校の取組や今後の方向等、助言していただいた。</p>	<p>梅林は、地域との関わりが非常に強固であり、今年は特に創立100周年ということもあり、たくさんの行事も協働して行うことができた。子供たちの思い出となる良い活動ができたと思う。</p>	<p>これまでに築いてきた地域との太いパイプを大切にしながら、地域活動の幅を広げ、地域と学校が協働し、未来を担う子供たちを共に育てる環境をさらに強化する。</p>
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施	<p>昨年度に引き続き、確かな学力定着・活用できる子を目指し、対話的な活動に意欲的に取り組めるよう、学習活動を工夫して進める。</p> <p>家庭学習におけるタブレット端末の有効活用を模索し、個別最適の学びを実現できるよう取組を進める。</p>	B	<p>朝読書により、一日のスタートを落ち着いて切れる児童が増えた。自分の意見を話すことに苦手意識をもつ児童もいることが児童アンケート結果から分かった。</p> <p>スタディサプリ導入により、家庭学習でのタブレット端末活用がスムーズに行えるようになった。職員研修を重ね、有効活用できるように取組を進めている。</p>	<p>タブレット端末の活用が進んでいるが、より主体的に学習する姿勢を作っていくことが課題となると思う。自分で考えて、仲間と互いに学びあっていく力を付けていけると良い。</p>	<p>タブレット端末の有効な活用となるように、授業や家庭学習の在り方を模索しながら、引き続き、確かな学力定着・活用できる子を目指し、学習活動を工夫して進める。</p>
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進	<p>互いの成長過程を理解できるよう、可能な範囲・できる方法で、幼小職員がそれぞれの子供たちの実態を交流する機会を設ける。</p> <p>挨拶や英語、人権教育、いじめ防止といった視点に立ち、「白梅華児童生徒を育てる会」を通して連携を深めながら、継続指導する。</p>	B	<p>今年度も、コロナ禍、直接的な触合い活動は難しかったが、参観する形で交流を進めることができた。</p> <p>「挨拶運動」では、スマイル児童会委員が校区4つの小中学校をオンラインでつないだ会議に参加。互いの実践を交流し、自校の取組に生かそうとすることができた。</p>	<p>コロナ禍、できる工夫を取り入れながら、他校との交流ができており、良かったと思う。反面、オンラインでは伝わりにくいこともあるだろうから、両者を必要に応じて併用していけると良い。</p>	<p>コロナ禍に新しく作り出した交流の方法も取り入れながら、互いの成長過程を理解できるよう、可能な範囲・できる方法で、それぞれの子供たちの実態を交流する機会を設ける。</p>
教育環境と学校財務環境の整備	<p>確実な定期的な点検を行い、「気づき」や「地域からの声」をキャッチし、速やかな改善を図る。</p>	A	<p>確実な定期点検実施を合言葉に点検を実施し、安心安全な学校生活となるよう努めた。体育館空調設置工事により、体育館が使用できない期間が発生したが、3月以降は快適に利用することができる。</p>	<p>今年は、体育館に空調設備が設置され、快適な空間になることで、災害時の避難も安心できる。適時、整備され、安心安全な環境へとつながっていると感じる。</p>	<p>確実な定期的な点検はもちろん、必要に応じた大規模改修も依頼し、安全な環境を守る。</p>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<p>「自分の命は自分で守る」力を育めるように、これまで以上に地域と協働し、従来の交通安全、避難訓練等に加え、「親子で通学路の安全確認や避難時の経路確認を行う」といった内容を取り入れる。</p>	A	<p>PTA会長からも「安全な登下校」を保護者に呼びかけていただき、「親子で通学路の安全確認や避難時の経路確認を行う」活動を実施した。今後も、「自分の命は自分で守りきる」意識が持てるように、継続して多様な内容で命を守る学びを仕組んでいく。</p>	<p>「自分の命は自分で守る」意識の取組はとても大事なことである。親子で通学路の確認も含め、日頃からの繰り返しの指導を今後も大切にしてほしい。</p>	<p>これまで以上に地域と協働し、「自分の命は自分で守る」力を育めるように、来年度も従来の交通安全、避難訓練等に加え、「親子で通学路の安全確認や避難時の経路確認を行う」といった内容を取り入れる。</p>

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/bairin-e/>